



(財)財務会計基準機構会員

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 デリカフーズ株式会社

コード番号 3392 URL <http://www.delica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 館本 勲武

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 田井中 俊行

TEL 03-3858-1037

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	14,027	△6.3	423	△18.9	405	△19.5	223	△22.7
21年3月期第3四半期	14,972	—	521	—	503	—	289	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	15,272.72	15,178.11
21年3月期第3四半期	19,138.90	19,012.41

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	8,940	4,032	45.1	275,379.84
21年3月期	8,364	3,884	46.4	265,212.43

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 4,032百万円 21年3月期 3,884百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期(予想)				5,000.00	5,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	△5.1	490	△22.5	450	△26.2	261	△24.7	17,821.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無



#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	15,605株	21年3月期	15,605株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	960株	21年3月期	960株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	14,645株	21年3月期第3四半期	15,126株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。



・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱による景気後退から、景気の持ち直し傾向が一部では見られるものの、雇用情勢の悪化や個人消費の減少等により、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きました。外食産業においても、所得不安を感じる消費者の生活防衛意識の高まりによる節約志向が続いており、外食を控える傾向が強まるなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、「新規顧客獲得」「新商品開発」「新市場開拓」の3つの取組みを積極的に実践し、業績回復に尽力いたしました。

「新規顧客獲得」としては、全社全社員営業体制を推し進め、お客様を工場・センターへお招きし、カット野菜製造工場での600以上にも及ぶカット野菜規格による顧客満足度アップへの取組み、出荷センターでの24時間受注体制およびタイトなリードタイム出荷体制への取組み、安心安全な品質管理体制への取組み等を紹介しました。さらに、旬野菜のメニュープレゼン、新開発商品のプレゼン、野菜勉強会の開催、野菜の持つ抗酸化力研究発表、新工場の青果物サプライチェーン構築プレゼン等を実施することにより、新規顧客を90社以上獲得(対既存稼動取引先22.5%増)することが出来ました。

「新商品開発」としては、過熱野菜の更なる進化系として、焼き目付野菜、過熱野菜のキット商品、過熱野菜のペースト、過熱野菜のドレッシング、過熱野菜のスイーツを開発し、新たな顧客開拓に貢献し、顧客数を38社(対既存稼動取引先230%増)まで伸ばしました。

「新市場開拓」としては、一般消費者の方々を対象にしたマルシェ(市場)を東京六本木と名古屋で開催し、B to Cへの市場参入を開始しました。マルシェの場において、旬の野菜や顔の見える野菜、こだわり野菜を提供し、さらに、上記開発商品の市場調査や、当社の事業目的の一つである《国民の健康増進》を具体化した、野菜の抗酸化力をキーワードとする商品販売提案を進めております。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、外食需要が落ち込むあおりを受け、売上高は14,027,019千円(前年同四半期比6.3%減)、営業利益は423,273千円(同18.9%減)、経常利益は405,455千円(同19.5%減)、当期純利益は223,668千円(同22.7%減)となりました。しかし、経済状況や外食需要の変化に対応した上記の取組みを推し進めたことで、当社グループの経営成績は当初計画と比較して堅調に推移しております。(下表参照)

(単位：百万円)

	平成22年3月期 連結業績予想 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	平成22年3月期 第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	進捗率(%)
売上高	18,500	14,027	75.8
営業利益	490	423	86.4
経常利益	450	405	90.1
四半期純利益	261	223	85.7

部門別の営業概況は次のとおりであります。

全事業共通の取組みとして、新規顧客獲得と重点取引先の深耕営業を継続して行ない、既存顧客の取引金額は減少したものの、新規顧客の取引金額を増加することができました。その結果、カット野菜部門売上高は4,591,697千円(前年同期比2.8%減)、ホール野菜部門売上高は7,468,399千円(前年同期比8.7%減)、その他部門売上高は1,966,921千円(前年同期比4.6%減)となりました。

当社グループは、中長期成長を見据えた活動として、当期において以下のような取組みを進めております。

<新工場の建設> 東京デリカフーズ株式会社(東京都足立区)

関東エリアにおける青果物のサプライチェーンの構築、事業拡大を目的に平成22年6月東京都足立区に「東京FSセンター(仮称)」を設立します。当新工場では、既存の工場・センター・事務所を集約して生産効率を高めるとともに、保管設備・衛生管理の充実をはかり、野菜の鮮度・品質の向上が実現されます。また、トレーサビリティシステムの導入により安全・安心を担保しつつ、24時間受発注体制を整え、新鮮で高品質な野菜の流通拡大を目指します。

<Farm to Wellness倶楽部の活動拡大>

今年4月に立ち上げた「Farm to Wellness倶楽部」は、医・食・農をつなぐプラットフォームの構築を目指したもので、生産者中心の活動から、資材・種苗業者、流通業者、外食・中食の実需者の方々へ活動が拡大しています。一般の消費者の方々を対象に、旬の野菜や過熱野菜を用いた加工食品を販売するマル



シェ（市場）を東京・六本木のパークヒルズや名古屋で開催し、B to Cへの市場参入を開始しました。B to Cでの経験を生かし、販売力・商品力・提案力の向上に活かしてまいります。

<過熟野菜の取り組み>

食料自給率向上における優れた取り組みを表彰する「FOOD ACTION NIPPON アワード2009」において、栄養素、うまみ、色、食感を損なわない、新たな調理方法として商品開発したことが評価され、研究開発・新技術部門で優秀賞を受賞しました。

当社グループは、野菜を中心に生産地から消費者までの食をコーディネートできる企業として、また「健康を増進する」社会的責任を担う企業として、企業価値向上に向けた取り組みを進めてまいります。



## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.9%増加し、4,452百万円となりました。これは、現金及び預金が68百万円、売掛金が356百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、4,487百万円となりました。これは、投資有価証券が14百万円、保険積立金が10百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、8,940百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.6%増加し、2,767百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が274百万円、短期借入金が69百万円、未払金が70百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、2,139百万円となりました。これは、長期借入金が25百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.5%増加し、4,907百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、4,032百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.3ポイント減少し、45.1%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

売上高、利益共に概ね計画通り推移しておりますので、平成21年5月12日発表の通期の業績予想に変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ② 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ④ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

#### ⑤ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ⑥ 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。



5. 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,021,967	1,953,253
売掛金	2,191,641	1,835,559
商品及び製品	73,813	42,571
仕掛品	2,560	1,288
原材料及び貯蔵品	31,553	16,142
その他	144,100	70,556
貸倒引当金	△13,351	△10,013
流動資産合計	4,452,284	3,909,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,192,927	1,237,252
土地	2,534,861	2,534,861
その他（純額）	390,803	344,416
有形固定資産合計	4,118,592	4,116,530
無形固定資産		
その他	33,889	32,206
無形固定資産合計	33,889	32,206
投資その他の資産		
その他	352,382	325,138
貸倒引当金	△17,032	△19,142
投資その他の資産合計	335,349	305,995
固定資産合計	4,487,831	4,454,733
資産合計	8,940,116	8,364,091



(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,325,420	1,051,032
短期借入金	483,267	413,468
1年内返済予定の長期借入金	221,760	197,342
未払法人税等	67,415	109,791
未払金	558,078	487,502
賞与引当金	16,322	53,183
その他	95,082	60,284
流動負債合計	2,767,345	2,372,604
固定負債		
長期借入金	2,000,077	1,974,631
退職給付引当金	45,357	43,348
その他	94,398	89,471
固定負債合計	2,139,832	2,107,450
負債合計	4,907,178	4,480,055
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	759,755	759,755
資本剰余金	1,591,242	1,591,242
利益剰余金	1,865,283	1,714,839
自己株式	△174,508	△174,508
株主資本合計	4,041,773	3,891,330
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,836	△7,293
評価・換算差額等合計	△8,836	△7,293
純資産合計	4,032,937	3,884,036
負債純資産合計	8,940,116	8,364,091



(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	14,972,396	14,027,019
売上原価	11,048,926	10,341,856
売上総利益	3,923,469	3,685,163
販売費及び一般管理費	3,401,872	3,261,889
営業利益	521,596	423,273
営業外収益		
受取利息	2,348	1,664
受取配当金	1,859	1,792
自動販売機収入	1,203	1,239
業務受託手数料	—	4,200
その他	4,501	5,471
営業外収益合計	9,912	14,368
営業外費用		
支払利息	27,706	32,185
その他	329	—
営業外費用合計	28,035	32,185
経常利益	503,473	405,455
特別利益		
退職給付引当金戻入額	5,228	—
保険解約返戻金	5,227	—
その他	—	12
特別利益合計	10,455	12
特別損失		
固定資産売却損	—	4,966
固定資産除却損	1,237	13,166
投資有価証券評価損	10,471	—
不動産取得税等	5,790	—
役員弔慰金	—	2,000
特別損失合計	17,499	20,132
税金等調整前四半期純利益	496,429	385,336
法人税、住民税及び事業税	206,923	161,667
法人税等合計	206,923	161,667
四半期純利益	289,505	223,668





(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	496,429	385,336
減価償却費	150,316	140,618
引当金の増減額 (△は減少)	△42,563	△33,624
受取利息及び受取配当金	△4,207	△3,456
支払利息	27,706	32,185
固定資産売却損益 (△は益)	—	4,966
固定資産除却損	1,237	13,166
売上債権の増減額 (△は増加)	△140,210	△353,971
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39,507	△47,924
仕入債務の増減額 (△は減少)	167,092	274,387
その他	71,542	78,317
小計	687,834	490,000
利息及び配当金の受取額	4,203	2,992
利息の支払額	△26,227	△31,439
法人税等の支払額	△244,869	△253,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	420,940	207,730
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△56,626	△70,220
定期預金の払戻による収入	98,000	88,343
有形固定資産の取得による支出	△1,047,883	△124,942
有形固定資産の売却による収入	—	538
無形固定資産の取得による支出	△2,902	△11,568
投資有価証券の取得による支出	△13,250	△17,206
貸付けによる支出	—	△10,000
貸付金の回収による収入	251	10,227
保険積立金の払戻による収入	11,810	—
その他	△18,294	△10,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,028,895	△145,282
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	83,367	69,799
長期借入れによる収入	880,000	355,000
長期借入金の返済による支出	△142,232	△305,136
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△30,008	—
自己株式の処分による収入	1,067	—
リース債務の返済による支出	△20,818	△21,988
配当金の支払額	△60,305	△73,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	701,069	24,388
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	93,115	86,836
現金及び現金同等物の期首残高	1,101,860	1,350,284
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,194,975	1,437,121



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社及び連結子会社の事業は、青果物事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、当該事業以外に事業の種類がありませんので、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社及び連結子会社の事業は、青果物事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、当該事業以外に事業の種類がありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高がないため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高がないため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



6. その他の情報

(参考) 最近における四半期毎の業績推移

平成22年3月期（連結） (百万円未満切り捨て)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	4,589	4,770	4,667	
売上総利益	1,175	1,248	1,261	
営業利益	97	148	177	
経常利益	92	141	171	
税金等調整前四半期純利益	89	141	153	
四半期純利益	52	82	88	
1株当たり四半期純利益	3,583.46円	5,623.01円	6,066.25円	
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	3,562.05円	5,580.02円	6,037.50円	
総資産	8,224	8,353	8,940	
純資産	3,866	3,947	4,032	
1株当たり純資産	264,020.18円	269,513.39円	275,379.84円	
営業活動による キャッシュ・フロー	12	123	71	
投資活動による キャッシュ・フロー	△22	△31	△91	
財務活動による キャッシュ・フロー	△2	△117	144	
現金及び現金同等物 四半期末残高	1,337	1,313	1,437	

平成21年3月期（連結） (百万円未満切り捨て)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	4,924	5,111	4,935	4,530
売上総利益	1,239	1,367	1,316	1,165
営業利益	109	222	189	110
経常利益	105	216	181	106
税金等調整前四半期純利益	106	216	173	98
四半期純利益	61	126	101	56
1株当たり四半期純利益	4,086.39円	8,333.38円	6,719.22円	3,865.66円
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	4,047.29円	8,282.34円	6,695.15円	3,836.55円
総資産	7,194	8,306	8,734	8,364
純資産	3,652	3,776	3,857	3,884
1株当たり純資産	241,197.93円	249,194.29円	258,832.36円	265,212.43円
営業活動による キャッシュ・フロー	31	295	94	209
投資活動による キャッシュ・フロー	△23	△928	△76	△1
財務活動による キャッシュ・フロー	△110	803	8	△52
現金及び現金同等物 四半期末残高	999	1,169	1,194	1,350